



# 会社説明会

個人投資家の皆さまへ

2023年12月1日  
株式会社フォーカスシステムズ  
証券コード 4662



代表取締役社長  
森 啓一

# Focus Systems

設立

1977年4月1日

事業内容

システムコンサルティング  
受託開発・保守運用・技術支援  
情報セキュリティ関連 ほか

資本金

29億円(2023年3月末)

売上高

291億円(2023年3月期)

取引市場

東証プライム(4662)

従業員数

1,351名 (2023年9月末)  
[男性 1,011名、女性 340名]

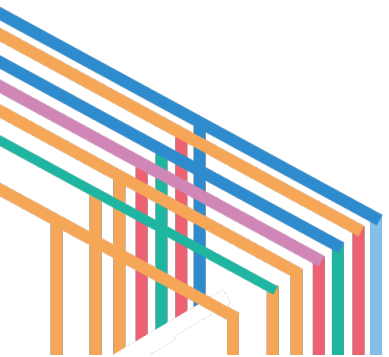


本日、伝えたいこと

**1. 社会と暮らしをITで支える会社**

**2. チャレンジできる安定基盤が強みの会社**

**3. どんな経営環境でも成長し続けてきた会社**



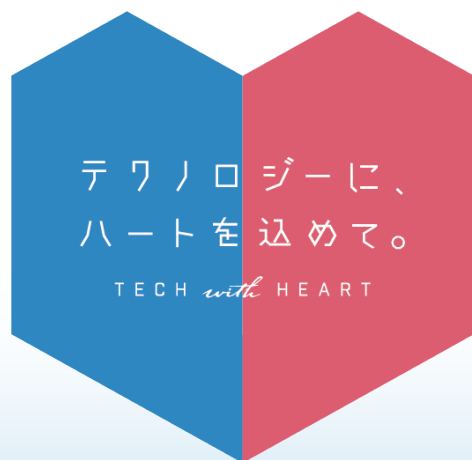


# 当社の特長と事業

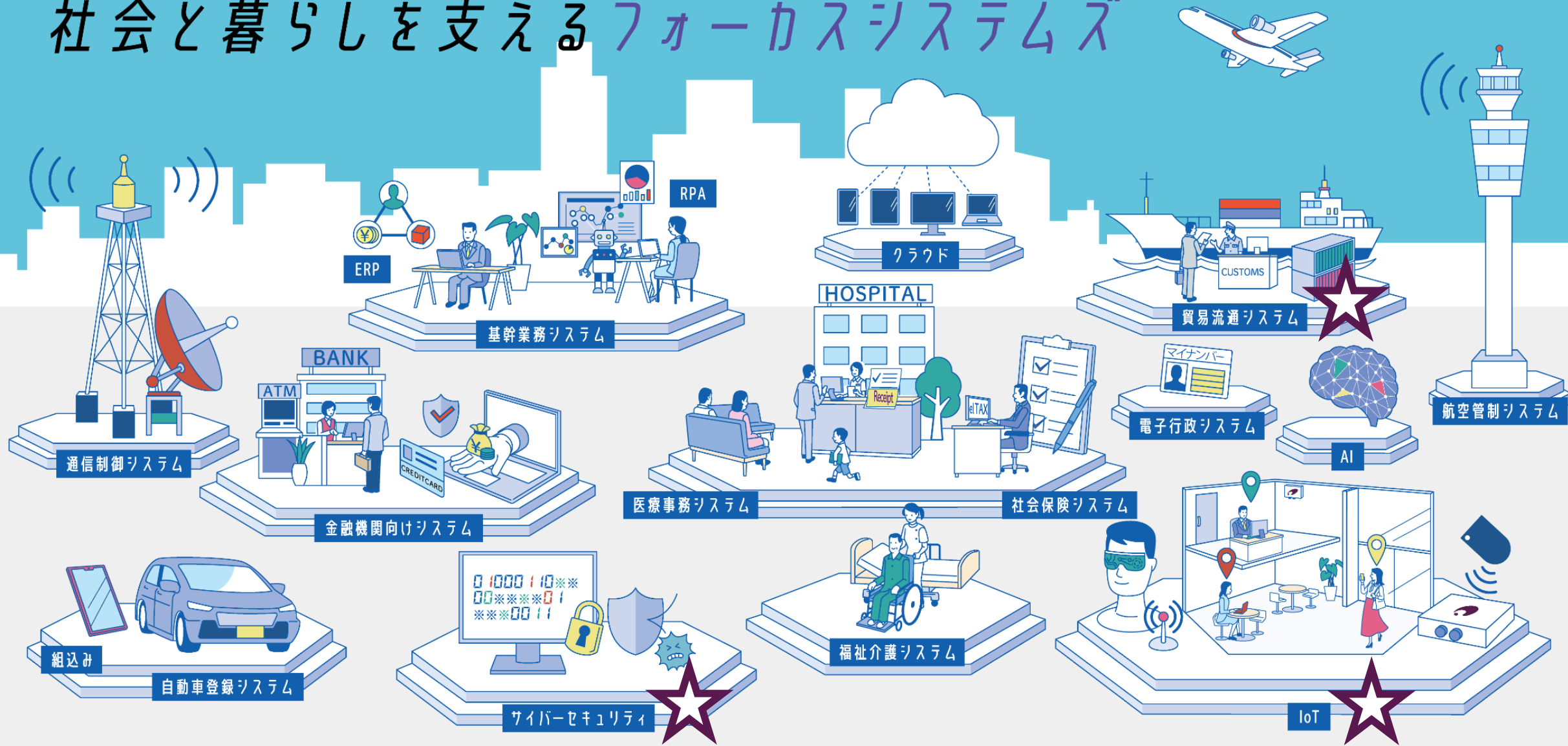
# 経営理念

社員すべてが心と力を合わせ、  
企業の発展と成長を通じて、  
未来のより良い環境作りに貢献する

# コーポレートスローガン

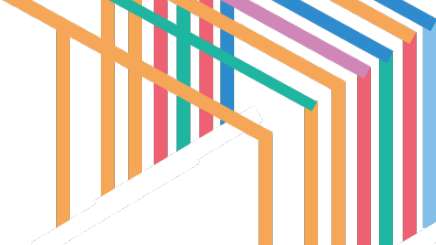


# 社会と暮らしを支えるフォーカスシステムズ



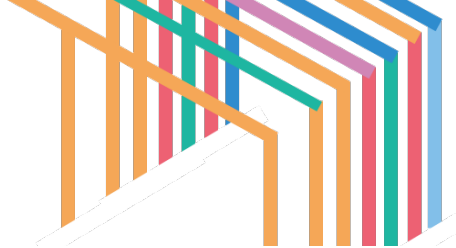
★ 一部に自社製品を含む分野

# SIerの系統別比較



	独立系	ユーザー系	メーカー系
概要	経営も資本も 独立している	情報システム子会社 商社/金融の元システム部	コンピュータ会社 ハードウェア会社
長所	幅広く自由な事業分野 培ったものは自社資産	親会社のノウハウ活用 安定した事業基盤	親会社のハード活用 ソリューション提案 安定した事業基盤
短所	すべて自力で獲得 経営と財務の基盤 顧客&協力会社・知的財産	専門分野が限定的 事業領域が狭い	親会社の縛り

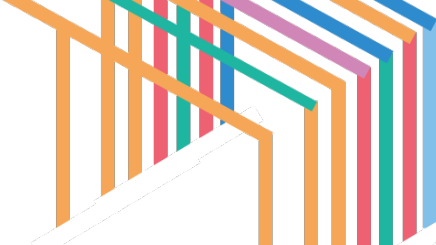
# 独立系の短所を克服する “当社の強み”



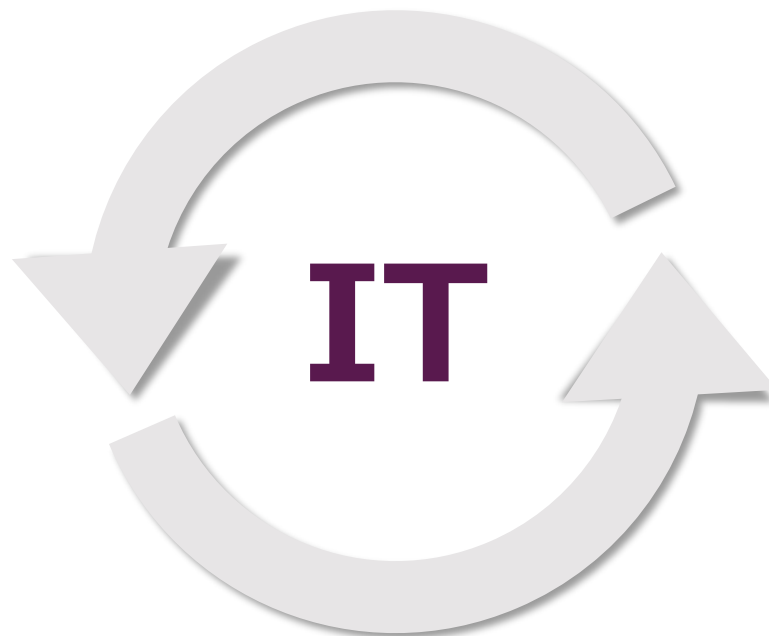
独立系の短所	フォーカスシステムズは・・・	
すべて自力	自由な選択	✓ 常に先を考え、行動する。
安定しにくい 財務基盤	安定	✓ 自らの力でチャンスを作り、活かす。
安定顧客 0から	増加中 NTTグループ各社 キンドリル 日本IBM など	✓ 常に自由な発想で創り、可能性を生む。
		✓ 個を尊重し、磨き、特別なチームに。
		✓ 安心のために、安定であり続ける。



# 【価値 × 信頼】の蓄積サイクル



業務知識・ノウハウ



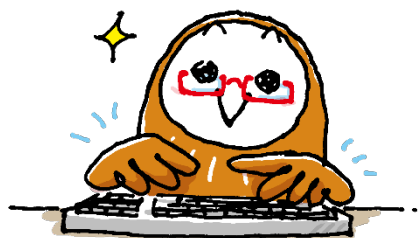
お客様

サービスプロバイダ  
メーカー 官公庁  
自治体 大手SIer  
大学 など

 Focus Systems

コンサルティング力  
マネジメント力  
技術力

ソリューション  
コンサルティング  
システム開発  
運用・保守



# 事業内容

## 当社は、ITのトータルソリューションを提供する“総合情報サービス企業”

高度化、多様化するニーズにお応えし続けていくため、常に新しいソリューションの創造に努めています。

### システムインテグレーション

▶公共システム 通信制御システム 組込みシステム  
業務アプリケーション IoT etc...

- 1980年代より独自の技術力を確立
- 長期安定した取引を続けられる信頼づくり
- IoTの製品・サービス取扱い、その知見にも定評

### ITサービス

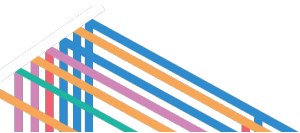
▶インフラ設計・構築 技術サポート 運用サポート  
etc...

- 1990年代より、時代が求める“ITの高度利用”に対応し続ける
- システム受託開発型の企業改め、“総合情報サービス企業”へ
- ITコンサルティング、開発、運用・保守を広くカバーする体制

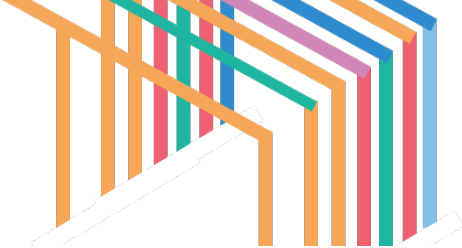
### 情報セキュリティ

▶暗号技術 電子透かし ネットワークセキュリティ  
etc...

- 情報リスクをコントロールできる幅広いサポート
- 自社セキュリティ製品のほか、システムへのセキュリティ機能組み込みも



# セグメント



01

公共関連

02

エンタープライズ

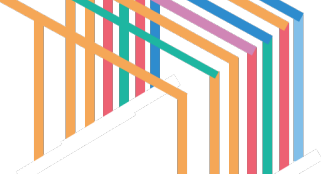
03

広域ソリューション

04

イノベーション





# 01 公共関連

社会インフラ基盤など

I

官公庁及び公共事業への従事

II

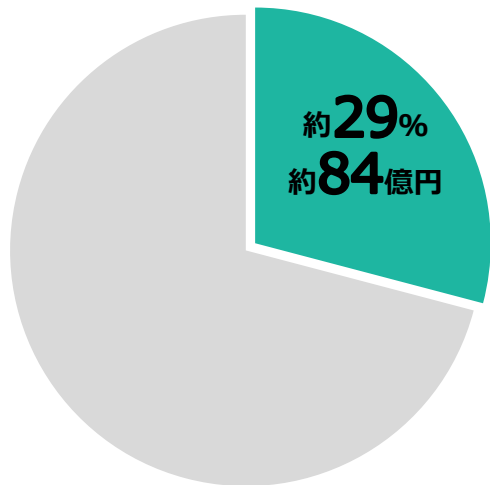
システムのライフサイクルに商機

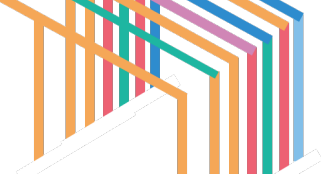
III

深い専門知識と豊富な実績

売上高構成比  
FY2023

約29%  
約84億円





## 02 エンタープライズ

基幹業務システム（ERP）  
クラウド、WEBアプリなど

I

産業の枠を超えた柔軟な発想提案力

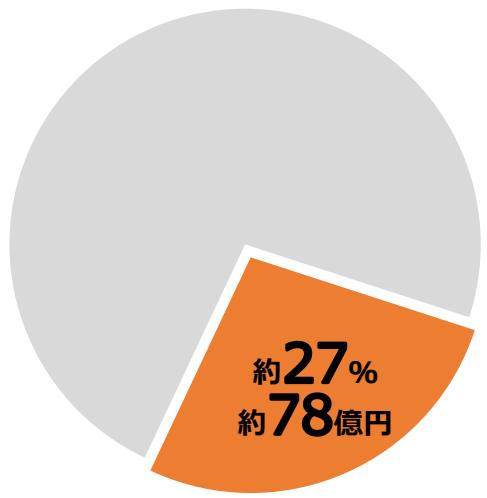
II

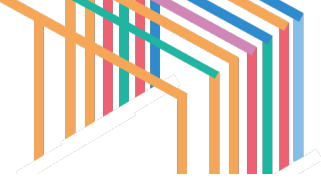
新たな価値創造を担う新技術領域

III

インフラが担う安定の収益基盤

売上高構成比  
FY2023





# 03 広域ソリューション

通信制御、組込み、  
AIソリューションなど

I

東名阪で展開する幅広い事業分野

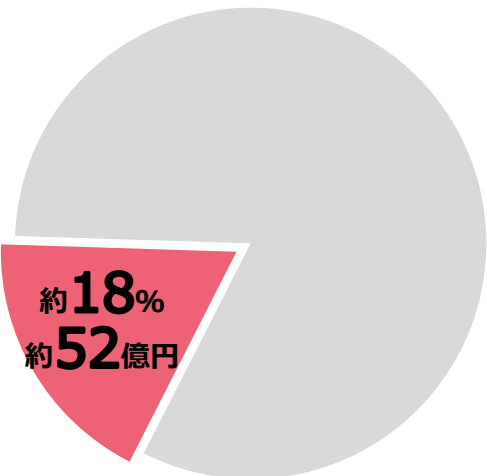
II

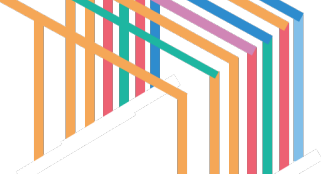
あらゆるニーズに対応する広範な技術

III

代々継承する創業期からの事業

売上高構成比  
FY2023





# 04 イノベーション

インフラ基盤  
IoT、情報セキュリティなど

I

イノベーションを縁の下で支える底力

II

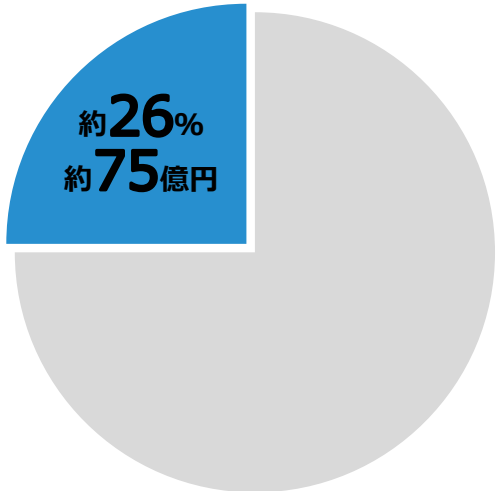
安定基盤構築を牽引し続ける開拓力

III

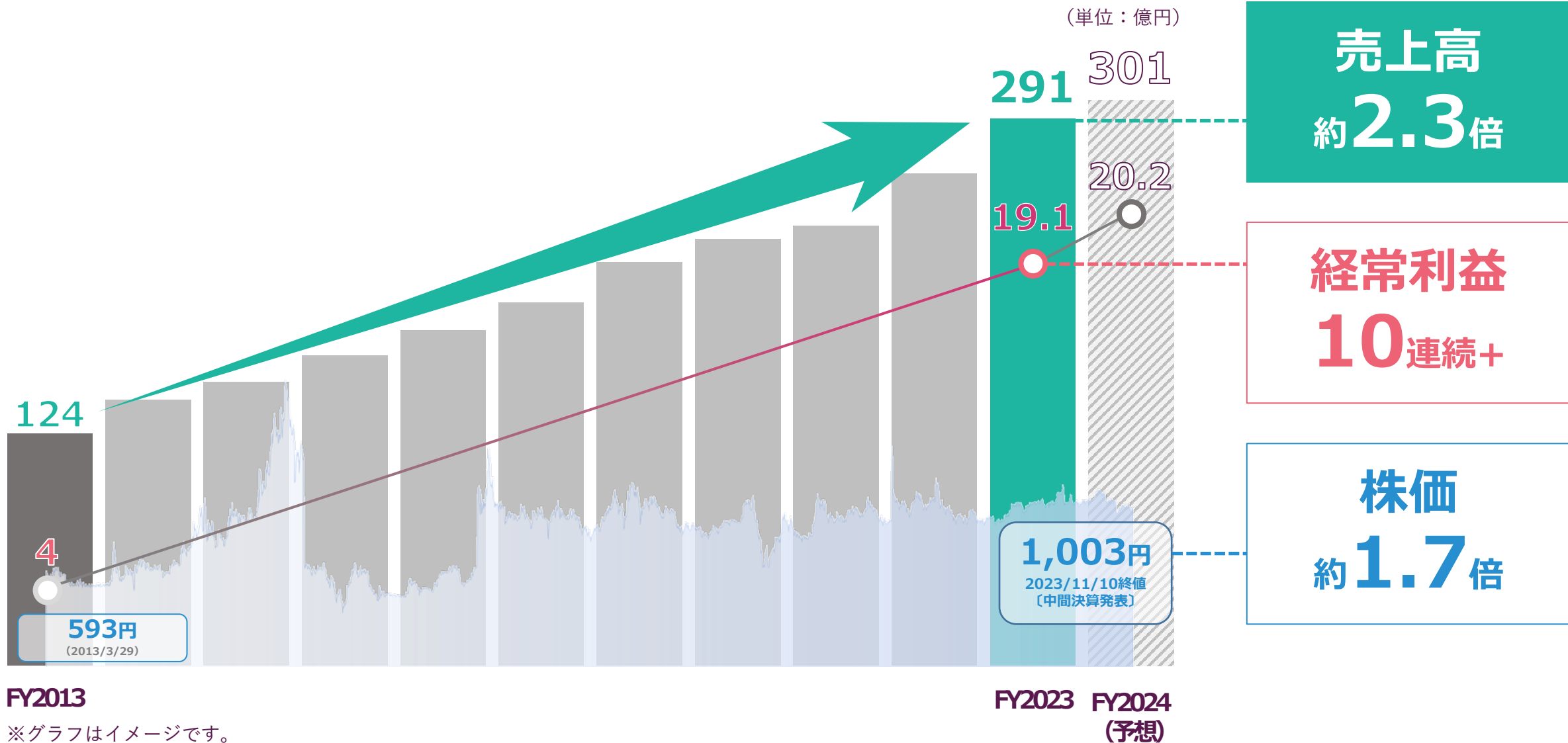
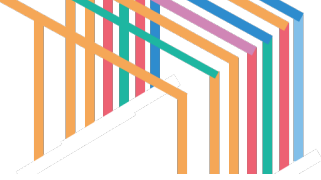
未来を拓く自社製品の開発

売上高構成比  
FY2023

約26%  
約75億円

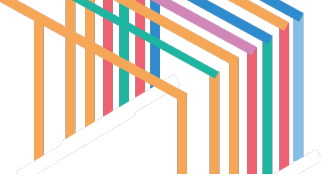


# 社員も、会社も、成長を続ける。 それが、フォーカスシステムズ。



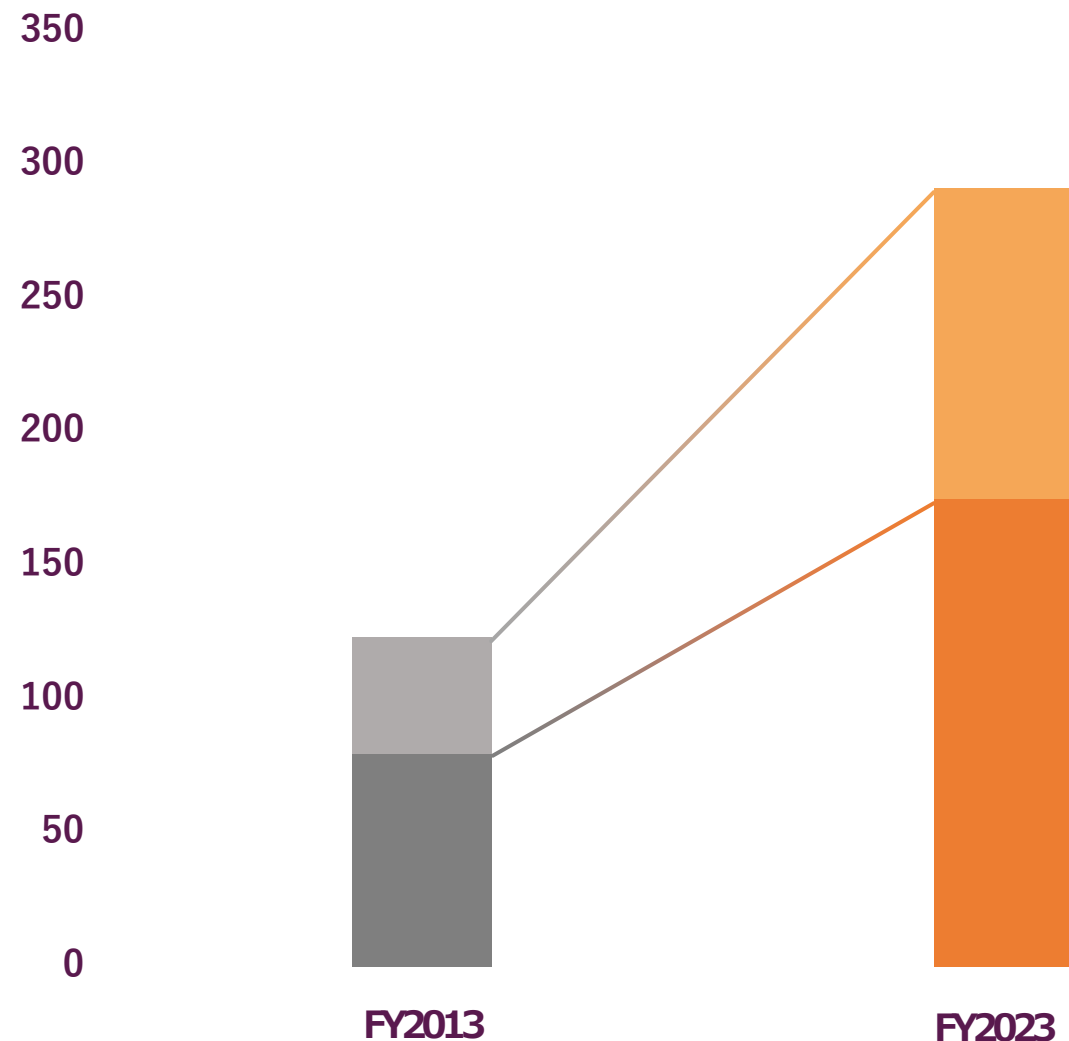
※グラフはイメージです。





# 【安定と発展】の両輪で成長

(単位：億円)



約**2.7**倍 **発展**

✓ その他の取引先

約**2.2**倍 **安定**

主要取引先TOP5 (FY2023)

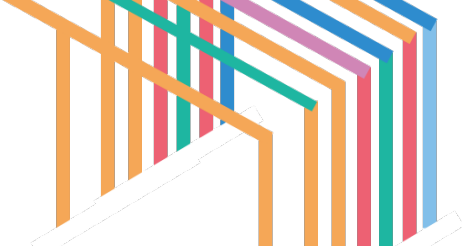
- ✓ NTTデータ関連 1988年～
- ✓ キンドリルジャパン関連
- ✓ 日本IBM関連 1997年～
- ✓ 中央省庁関連
- ✓ TISインテック関連



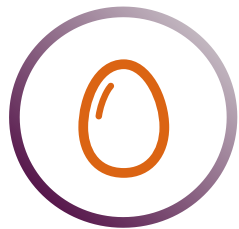


# 未来に向けた取組み

# 01 子会社の展開



## 株式会社フォーカスインキュベート始動

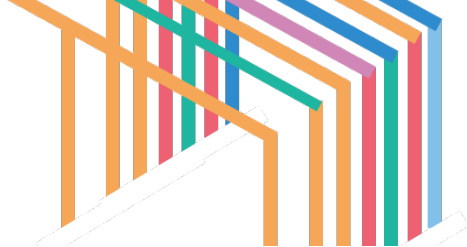


当社グループの成長にコミット



ベンチャーの投資育成と社会実装

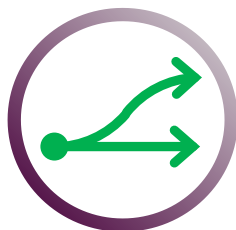
## 02 I Tの輸出



# フィリピンの基礎教育への貢献

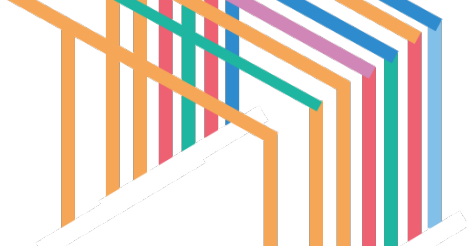


**フィリピン市場への期待**



**自社製品の拡販先として**

# 03 省エネテクノロジー



## 三次電池の概念実証



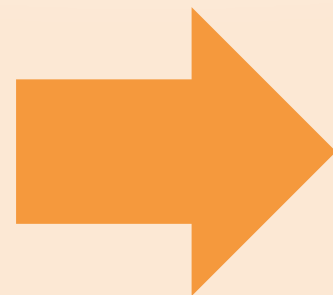
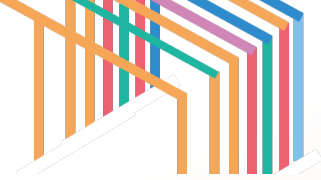
環境熱(気温の上昇下降)で充電する電池



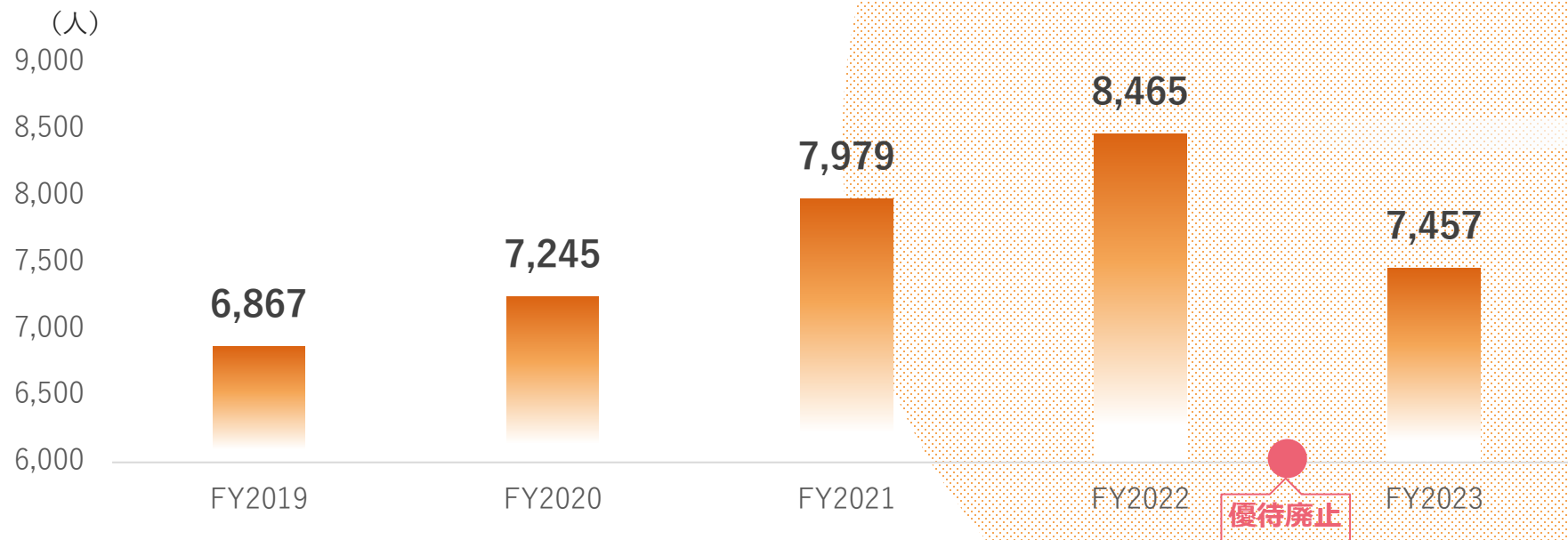
“IoT機器無充電”の実現を目指す



# 株主還元



# 株主様への還元 ～株主数と配当推移



	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024 (予想)
1株当たり 当期純利益	58.11円	61.83円	68.08円	70.76円	92.18円	96.01円
1株当たり配当金	20.00円	25.00円	24.00円	27.00円	35.00円	38.00円
配当性向	34.4%	40.4%	35.3%	38.2%	38.0%	39.6%



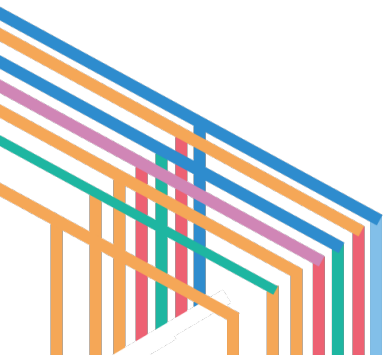


本日、伝えたいこと

**1. 社会と暮らしをITで支える会社**

**2. チャレンジできる安定基盤が強みの会社**

**3. どんな経営環境でも成長し続けてきた会社**





# 資料編

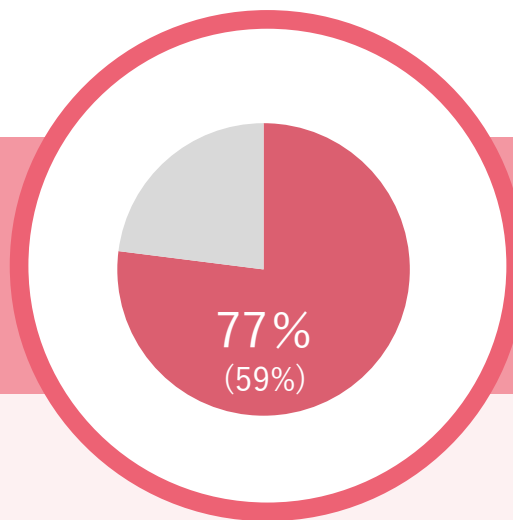
## プラチナくるみん



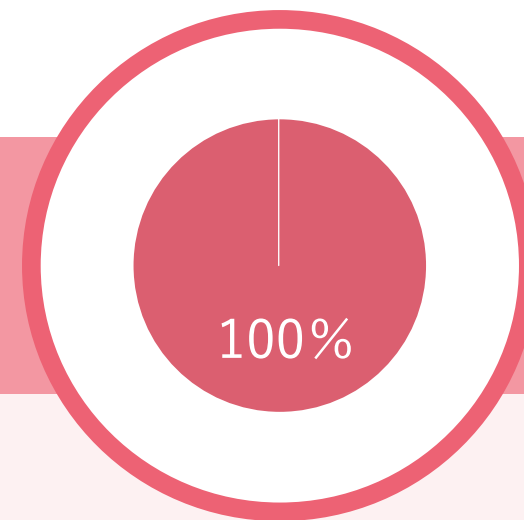
## えるぼし (女性活躍推進)



## 男性育児休業取得率 育児休業等及び育児目的休暇 (内、育児休業等)



## 育児休業取得した 男女社員の復職率



短日・短時間  
勤務制度

ジョブリターン  
制度(再雇用制度)

フレックス制度



健康管理  
セミナー



職域創生

健康経営  
優良法人2023



部活動支援



2023  
健康経営優良法人  
Health and productivity

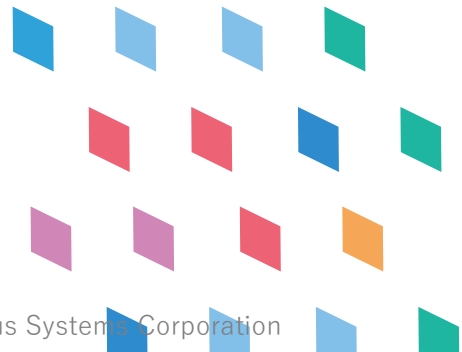
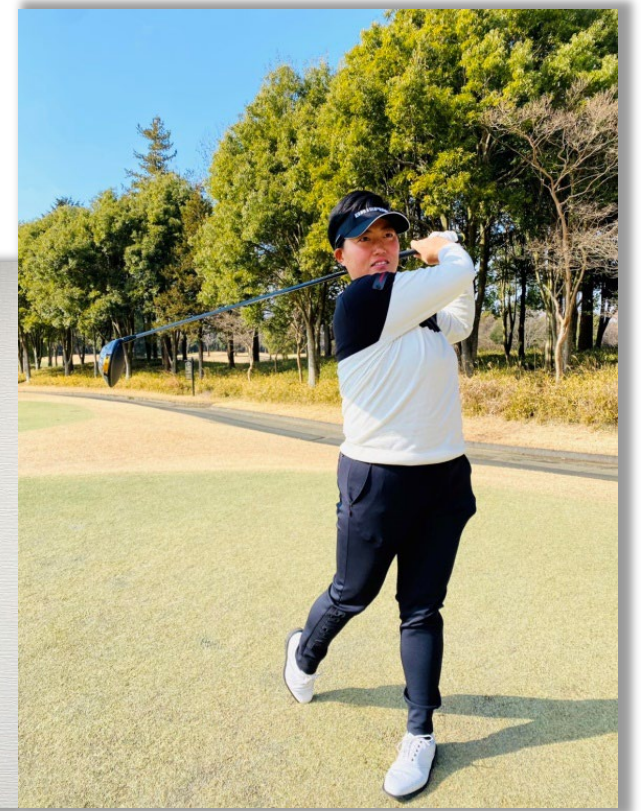


# 多様なスポンサーシップ

## 東京女子体育大学新体操競技部



## 工藤遥加選手と関係者









## お問い合わせ先

株式会社フォーカスシステムズ I R ・ 広報室

U R L <https://www.focus-s.com/>

T E L 03-5421-7790



## 免責事項

本資料において、特段の表示を除き、値は小数点以下切捨、割合等は小数点第二位で四捨五入としております。本資料作成現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提に本資料を作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。